

# 紫川水系における豊かな川づくり ～誰でもできる多自然川づくりを目指して～

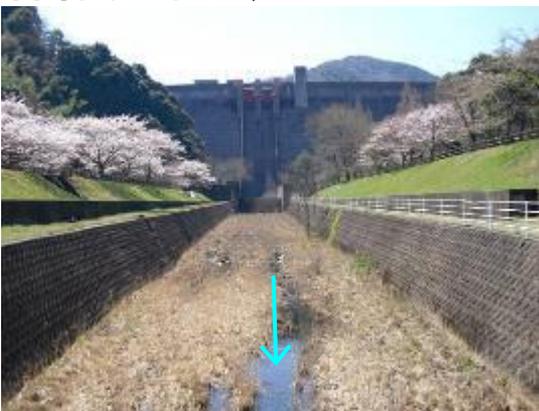


福岡県 北九州県土整備事務所  
河川砂防課河川改修係 河野玄貴

# 1. 紫川の概要



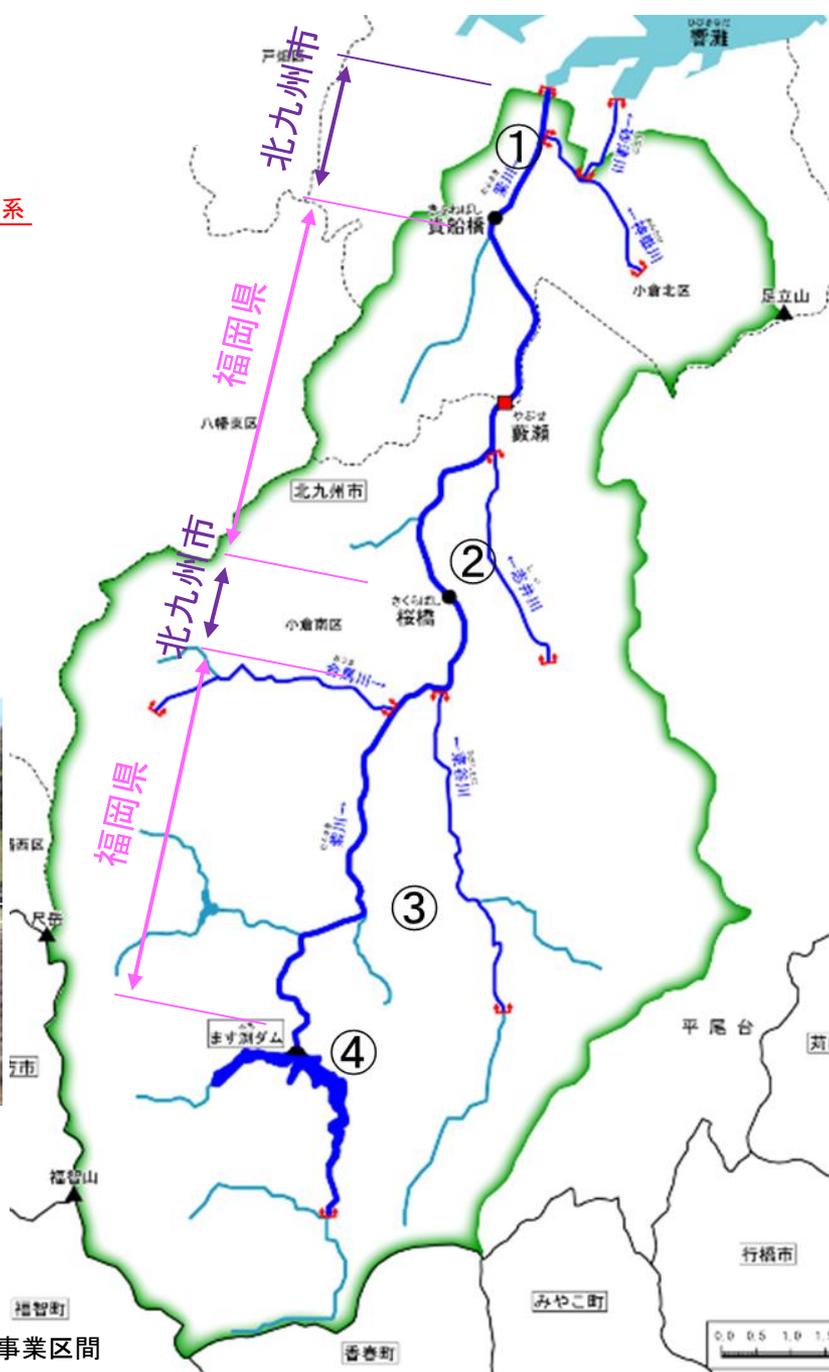
流域面積: 113km<sup>2</sup>  
 幹線流路延長: 21.3km



写真④. ます淵ダム

凡例	
<span style="color: red;">■</span>	: 基準地点(治水・利水)
<span style="color: black;">●</span>	: 主要地点
<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;"> </span>	: 紫川流域
<span style="border-bottom: 1px solid black; width: 20px; display: inline-block;"></span>	: 市町村界
<span style="border-bottom: 1px dashed black; width: 20px; display: inline-block;"></span>	: 区界
<span style="color: red; border-bottom: 2px solid red; width: 20px; display: inline-block;"></span>	: 県管理区間

⇄ : 県事業区間  
⇄ : 市事業区間



写真①. 下流部(北九州市役所付近)

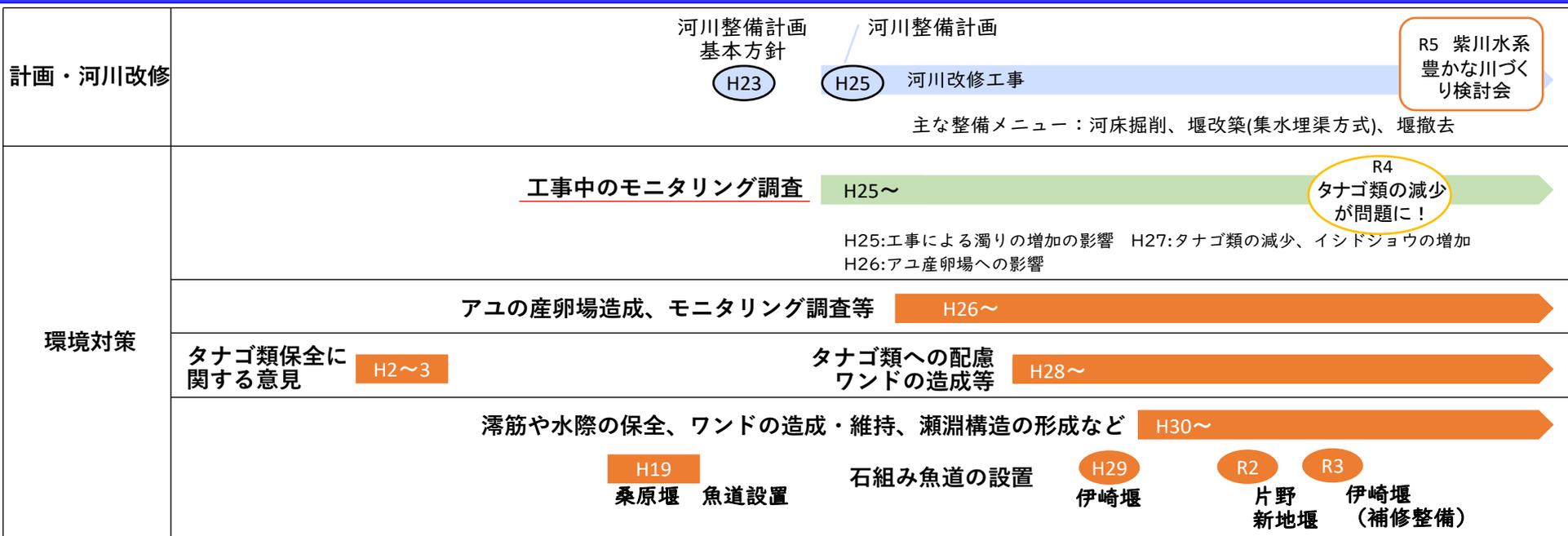


写真②. 中流部(砂原橋上流付近)



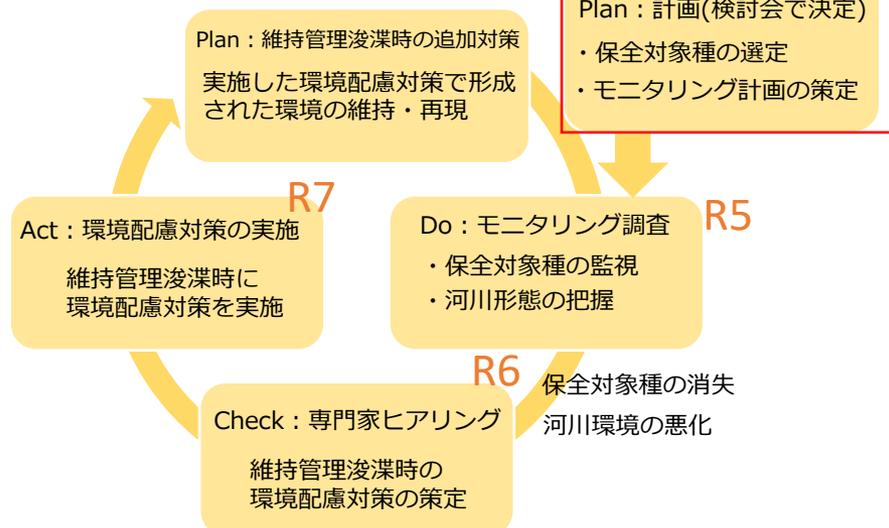
写真③. 上流部(春吉の眼鏡橋)

# 紫川のこれまでの主な環境配慮の取り組み

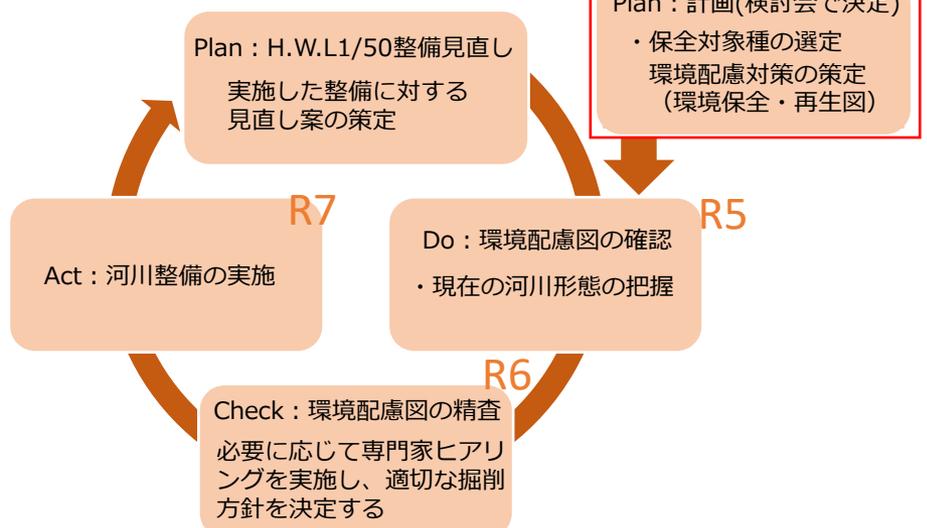


## 環境対策PDCA(紫川再生計画)～紫川水系豊かな川づくり検討会～

【維持管理浚渫時のPDCA】



【H.W.L1/50整備でのPDCA】



# 2. 課題

- R6除草工事で [ ] のホットスポットの水際までが除草された
- 紫川全管理区間 21.3kmの内、8.2 km(貴船橋～東谷川合流点)で毎年草刈り実施
- 水際残しの草刈りは過去の実績から引き継ぎ

R6除草工事後の状況



溝尻川からの細流

紫川本流

細流の水際まで除草されている



大谷公認会計士  
税理士事務所

川崎整骨院

溝尻川

写真

南方長尾1号線

砂原橋

紫川

長尾高野  
中央公園

ランドアクシス

長行町線

1丁目

## 2. 課題

- **所内(係間)**で環境に関する情報共有がなされていない
- 過去の環境対策の事例が引き継がれていない
- 多自然川づくりのノウハウが引き継がれていない
- 多自然川づくりの必要性について職員の理解度が低い(治水事業のおまけ?)
- 職員が河川環境に関心が無い?

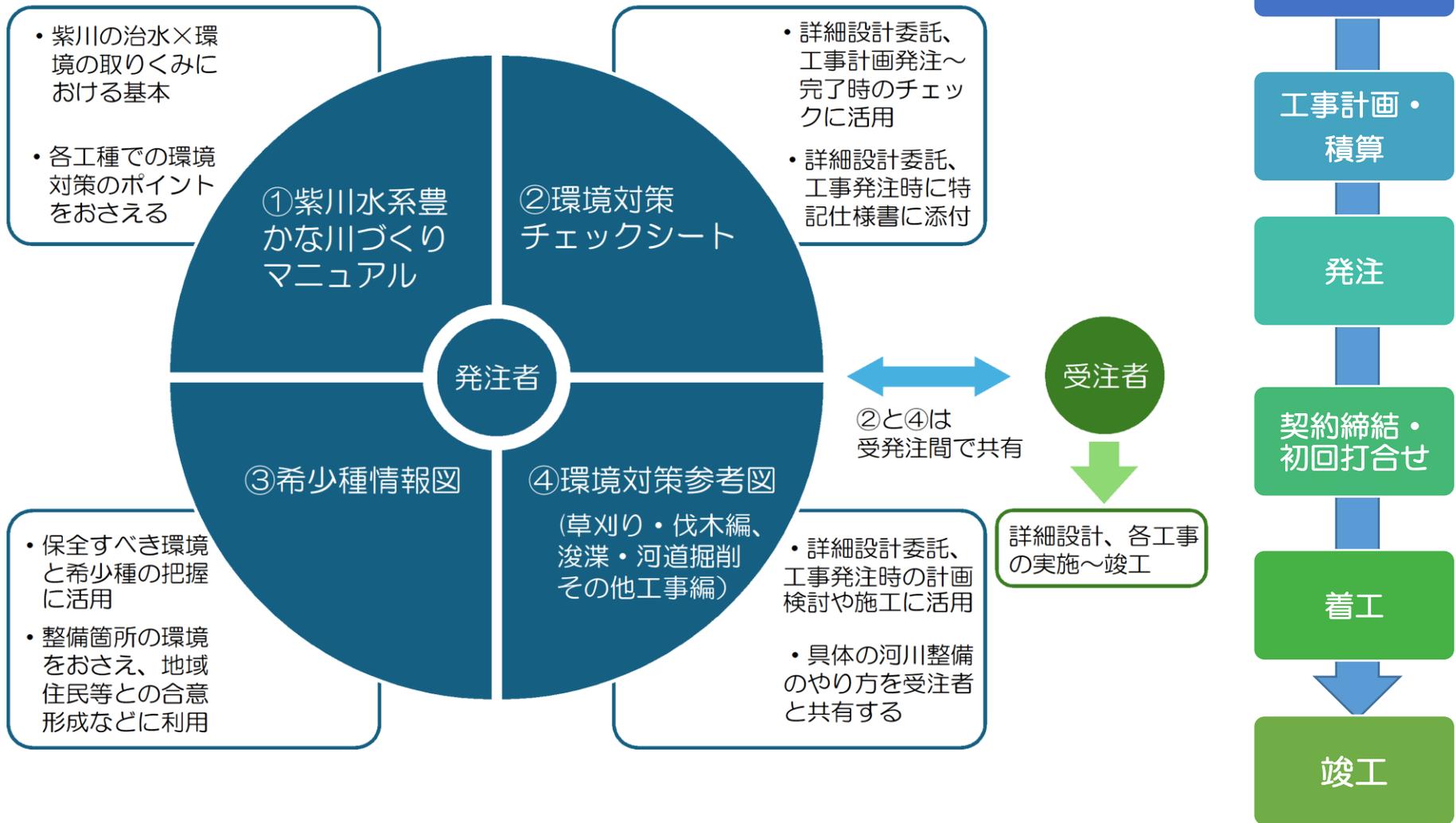
一定レベルで職員誰でも  
環境に配慮した河川整備を  
するにはどうすれば?

PDCAのマニュアル化  
Checkの取り組み



### 3. 紫川水系豊かな川づくりマニュアル ～4つのツール～

#### 4つのツールと活用方法



# ① 紫川水系豊かな川づくりマニュアル

- 草刈・伐木、河道掘削・浚渫や仮設道路設置の際のポイントを整理
- 草刈は**水際残し**を、河道掘削、浚渫は**水際残しとワンドの造成**をポイントとした
- 仮設道路設置の場合は**環境への影響の最小化と復元**をポイントとした
- ページ数はできるだけ少なく(全23ページ 内ポイントの解説は6ページ)
- 写真、図でわかりやすく、見て飽きないように

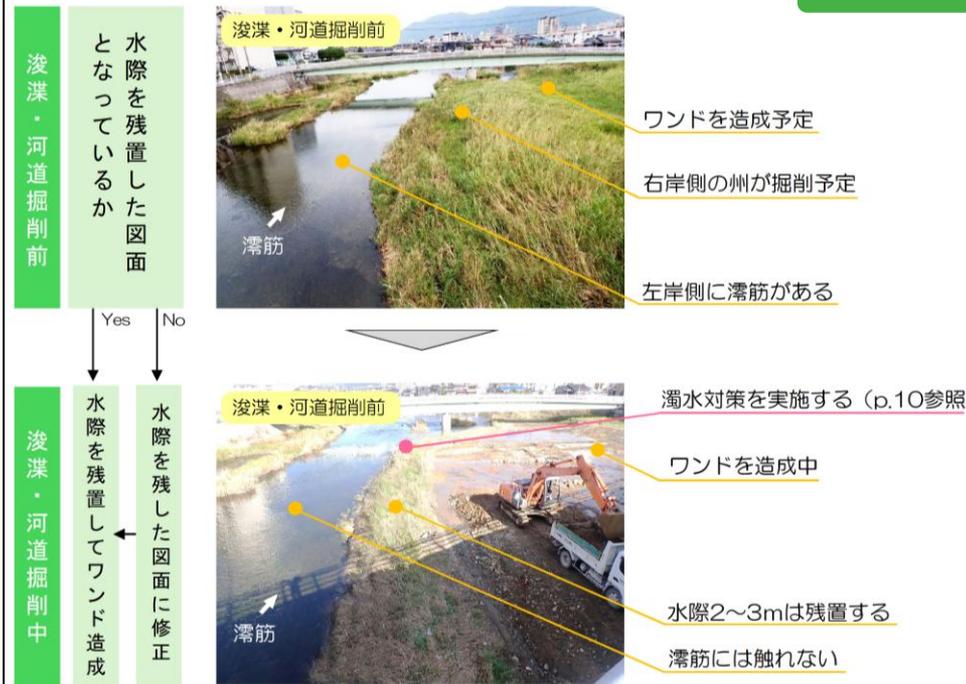
【今後の図面】  
 今後は、従来の平面図に注釈を追加したものと、参考図を発注時に添付し、発注者と受注者で協議をした上で、工事を行うこととします。  
 浚渫時には計画河床を確認した上で、水際植生を残し、可能な限りワンドやたまりを整備します。

※詳細な掘削範囲は発注者と協議により決定する

## 浚渫・河道掘削の開始から終了まで環境対策のポイント

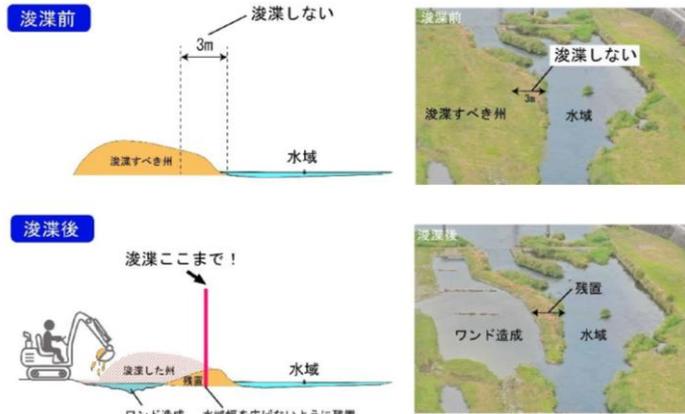
【確認フロー】

【環境対策のポイント】



## 施工

【浚渫のイメージ】



ワンド造成のポイント

- ワンドへの水の引き込み口は下流に設ける。
- 本川の低水位を確認する。
- ワンド内の水深は50~80cmとし、浅い所と深い所を作る。
- ワンドの勾配は5割程度と緩やかにする
- 仕上げはきれいに成形せずに凹凸をつける





### ③ 希少種等情報図

- 保全すべき環境と出現する可能性のある種を明記
- 職員の情報把握、関係機関や施工業者、地域住民との合意形成への活用も想定

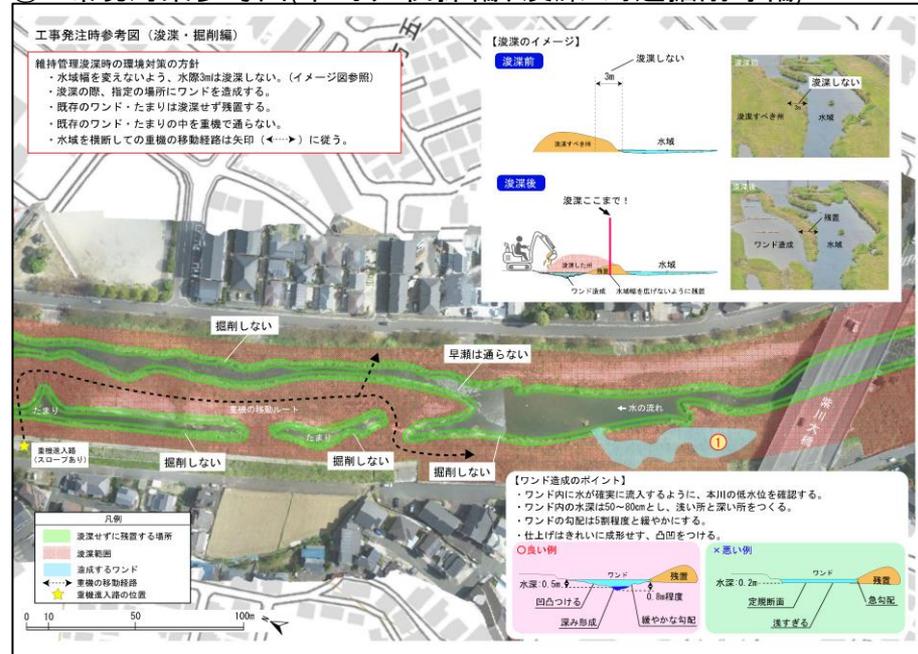
### ④ 環境対策参考図 草刈り・伐採編、浚渫・河道掘削等編

- 掘削する範囲と残す範囲、ワンド造成箇所、工事車両の侵入経路を記載
- 工事の際の参考図として契約図書に添付する(特記仕様書に紐づける)

#### ③ 希少種等情報図



#### ④ 環境対策参考図(草刈り・伐採編、浚渫・河道掘削等編)



※ 紫川事業区間(1k980~8k880)、東谷川事業区間(0k900~3k420) で作成

# 環境対策の取組みスキーム

- ①マニュアル
- ②チェックシート
- ③希少種等情報図
- ④環境対策参考図



河川維持工事（維持係）  
（草刈り、浚渫、護岸工、その他）

河川改修工事（改修係）  
（H.W.L1/50）

- ・①③④を確認し積算に反映する
- ・④と現河川形状が異なれば対策を検討する

- ・発注時に②を特記仕様書に添付する。環境保全・再生図（※1）、①③を確認し計画に反映する改修参考図（※2）を作成する
- ・縦横断平面図、改修参考図をもとに積算する。
- ・①③を確認する。
- ・④と現河川形状が異なれば対策を検討する

②により、各担当（※3）、係長、課長でチェックする

- ・②④を特記仕様書に添付

- ・改修参考図と②を特記仕様書に添付

発注者は②④を受注者に説明する  
受発注者間で②④を共有する

アドバイス  
◀◀◀

受発注者で②によるチェックを行う  
施工業者からの問い合わせがある場合は  
必要に応じて、コンサル等に助言を仰ぐ（※5）

アドバイス  
◀◀◀

受発注者で②によるチェックを行う  
②により各担当（※3）、係長、課長でチェックする

必要に応じて①～④の更新を行う

環境調査業務（改修係）（※4）

# R7取り組みの実施

- R7除草工事で試験運用、効果あり
- 「希少種等情報図」を河川愛護団体へ環境啓発資料として情報提供
- R7浚渫工事で活用実施中
- 紫川水系豊かな川づくり研修会  
10/24(金)開催

参加者:

北九州県土整備事務所、北九州市



ワンド沿いの水際植生も保全

紫川 R7除草工事後のようす



研修会 現地体験のようす



研修会 グループ演習のようす

(協力学識者)

- 九州大学大学院農学研究院 鬼倉徳雄教授
- 九州大学大学院工学研究院 林博徳准教授
- 福岡県保健環境研究所 中島淳専門研究院

(調査設計関係者)

- 一般財団法人九州環境管理協会

(工事関係者)

- 和田建設(株)、(株)ビルテクノ 他

ご清聴ありがとうございました。

